

見てわかる

# レモンの苗木 剪定方法

高つきレモンの会  
2025年12月  
栗山



## 育成9ポイント(鉢植え)

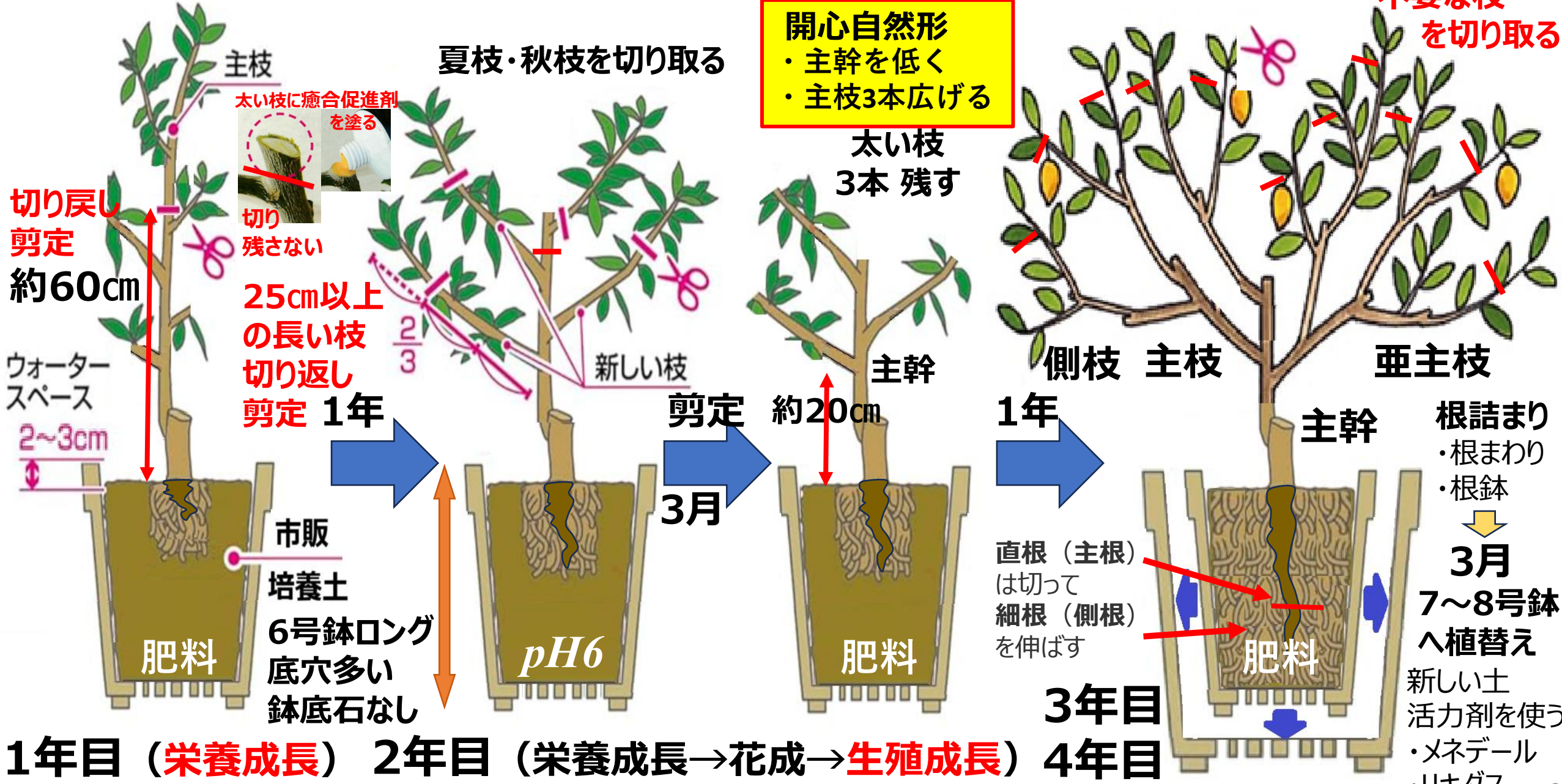
- ・日当たりの良い場所に置く
- ・土が乾くと水をたっぷりやる
- ・追肥は3月、6月、9月、11月(収穫時)
- ・最低気温5℃で屋内に置く(12~2月)
- ・**3月剪定でコンパクトにする**
- ・8月は葉25枚に1個の摘果
- ・病害虫対策 アゲハ蝶の卵を取る
- ・大きく育つと植え替えて鉢増(3月)
- ・植付3,4年生で開花し雌しべに実

pH6  
肥料 防寒対策

# 1. 剪定：コンパクトできれいな樹形にし結実させる

夏枝・秋枝  
不要な枝  
を切り取る

**開心自然形**  
・主幹を低く  
・主枝3本広げる



**1年目 (栄養成長) 2年目 (栄養成長→花成→生殖成長) 3年目 4年目**

# 1-1 剪定方法は2種類

枝の年齢に関係なく枝分かれの**付け根で切る**

切り下げ剪定  
上向きを切る

① **切り戻し剪定**  
(間引き) **枝を生えないようにする**

切り上げ剪定  
下向きを切る

1年後

1年生枝 (前年の新梢) の**途中で切る**

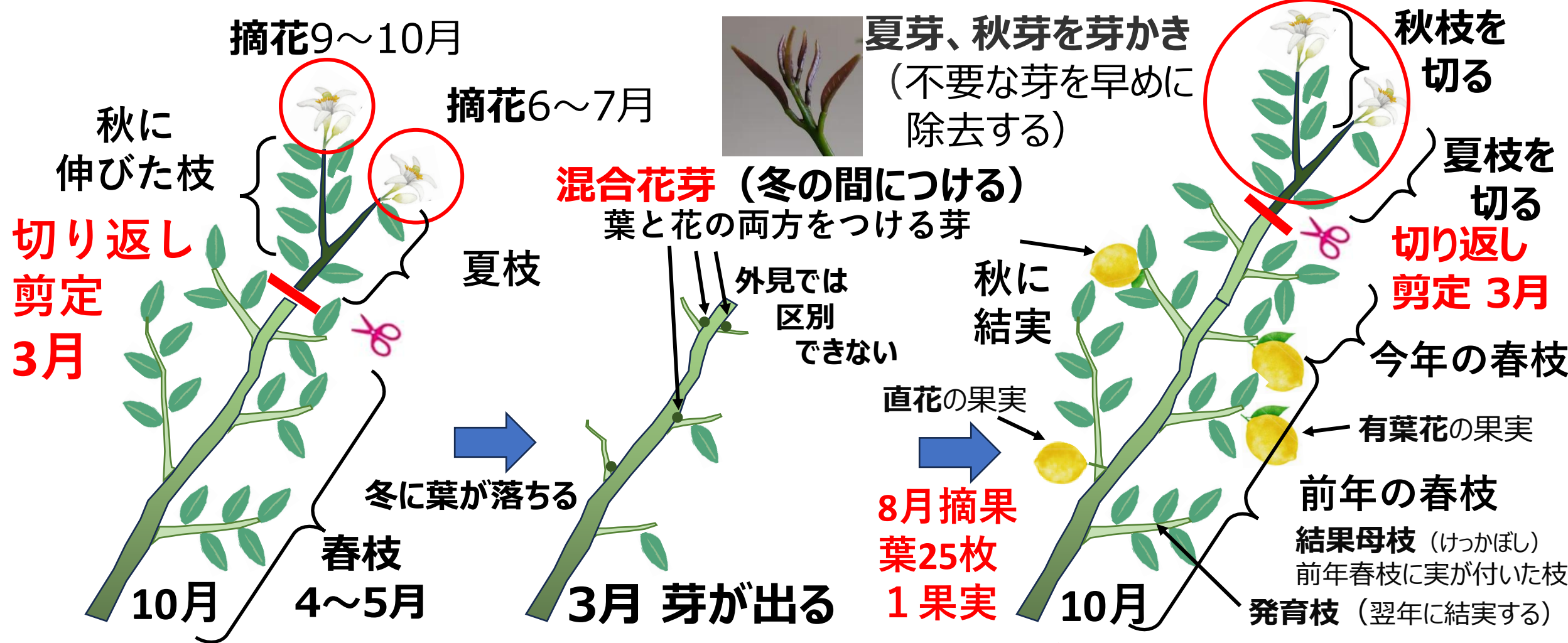
② **切り返し剪定**  
(切詰め剪定) **枝、花を激増させる**  
**コンパクトにさせる**

1年後

外芽 (下芽) 先端から3mmで切る

# 1-2 夏枝と秋枝を切り取る理由：多くの栄養を消費するため、春枝の実に栄養を集中させる

レモンは **前年枝タイプ**と言われ、前年結実しなかった**春枝**にしか**果実がつかない**



**前年結実しなかった2年枝と3年枝の先端から5芽ぐらいは混合花芽がつく**

- レモンの**結果習性**
- ・1本で実が生る**自家結実性** (不完全花に注意)
  - ・春、夏、秋に花が咲く**四季咲き性** (夏秋は摘花)
  - ・実がなる年とそうでない年が交互にくる**隔年結果**

# 1-3 花が咲き結実する春枝の見分け方

節目：冬になり成長が止まったら春芽と夏芽の境目に節目が出る

**3月剪定**：春枝（開花・結実する枝）と成長だけの夏枝の境目にある節の上で剪定

春枝と夏枝の間にある「**陰芽**」から来年、花芽がよくつく**春枝が伸びる**

**陰芽**：枝組織中に隠れてる休眠芽、枝が切られると成長始める

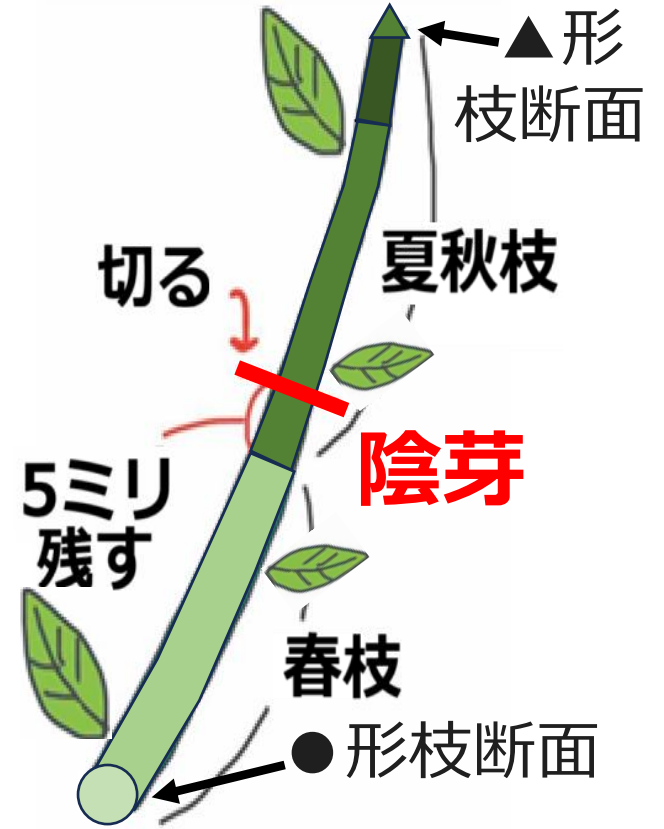
夏枝、秋枝を切り取る→来年花が充実

**秋枝**は発生次第**芽掻きし**、  
栄養を花芽形成に集中させ**開花を増やす**

（防虫対策にも効果あり）

11月頃から**花芽分化**が始まる

（翌年の花芽形成）



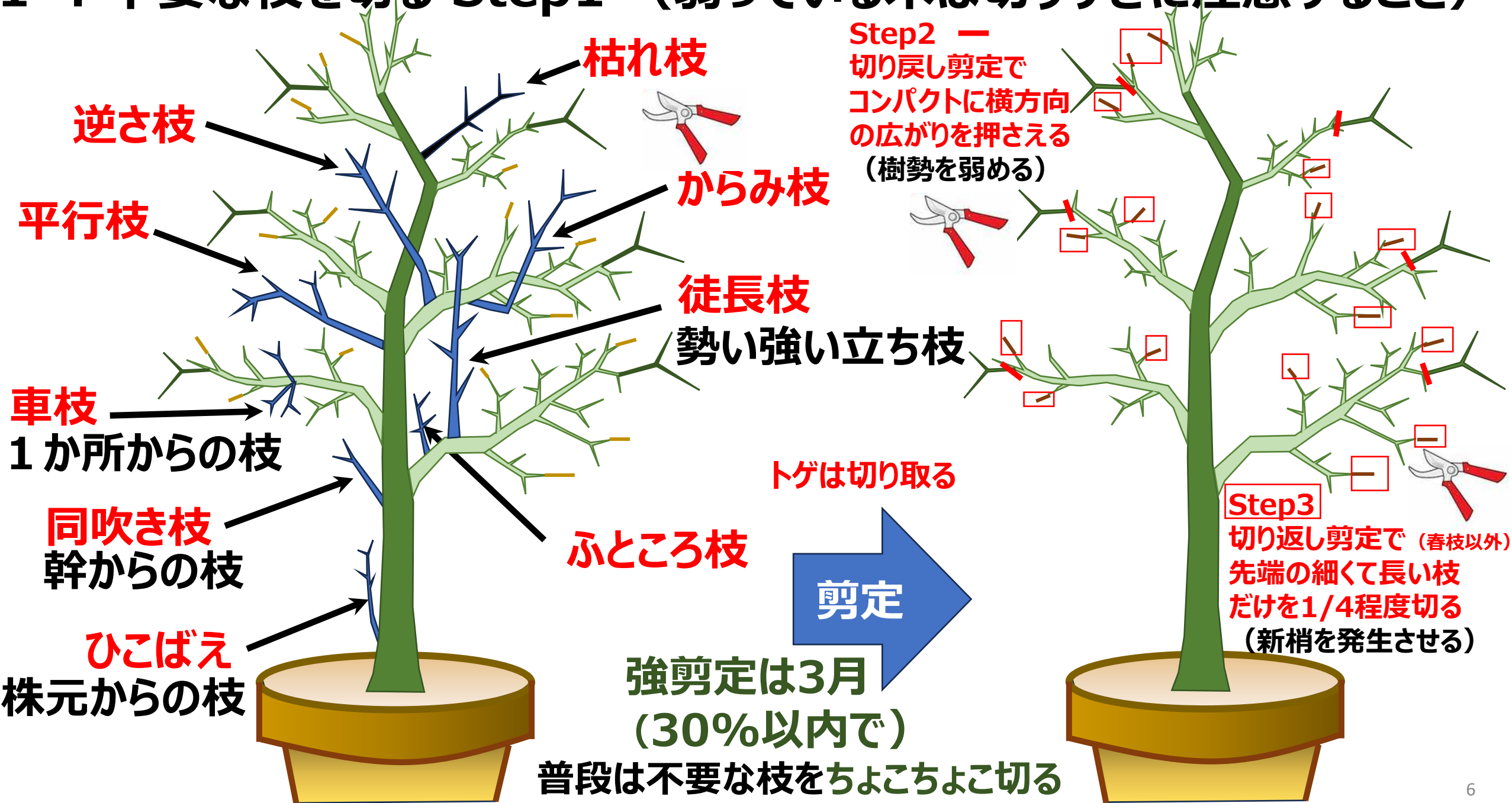
## ジュエードロップ

**6月頃**になると、花びらと一緒に小さな実がポロポロと落ちてしまうことがある。

これは栄養が分散しないように、**株が自ら果実を減らす生理現象**。

（注意）若くて葉が少ない苗にとって花を咲かせ実をつけることは大きな負担となります。株の成長を優先させるためには、最初のうちは蕾を摘み取って、株を充実させることをお勧めします。

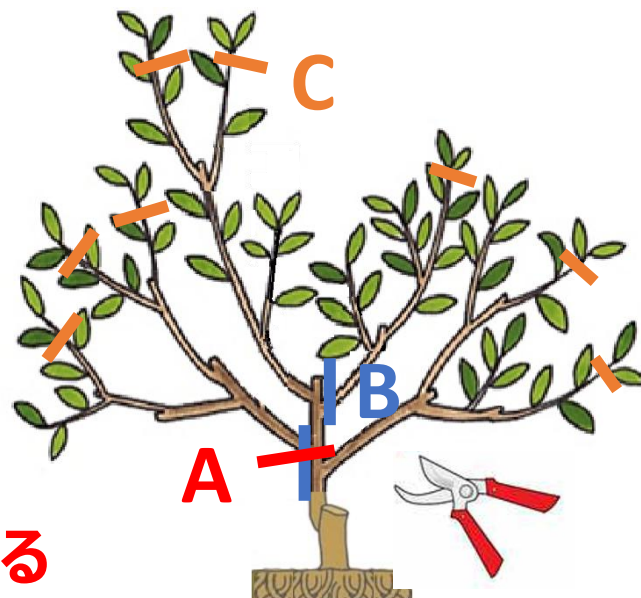
# 1-4 不要な枝を切る Step1 (弱っている木は切りすぎに注意すること)



# 1-4 Step1,2,3でも結実しない場合（栄養成長中、花芽を切っている）

切りすぎに注意！  
2,3年かけてコンパクトな  
苗木に剪定してください。

**3月に剪定**  
**A,B,Cを組合せる**



芽には花芽（混合花芽、純正花芽）と葉芽がありますが、  
外見では区別できません。  
しかし、**短い春枝の先端付近に花芽**が付く傾向にあります。  
この春枝を大事にし、他の枝を切り返し剪定で切り詰めてください。

**C剪定**：花芽を切ると怖いので切り詰めない人が時々います。  
切り詰めないと新梢発生せず若返らない。枝が細くなり実付き悪い。

切り返し剪定

切り返し剪定：30cm以上の長い枝だけを1/4程度切り詰める  
長い枝がない場合は、枝の3本に1本を少し切り詰める

栄養成長OFF  
生殖成長ON

**A**

栄養成長OFF  
生殖成長ON

**B**

栄養成長ON  
生殖成長OFF

**C**

**11月結実**

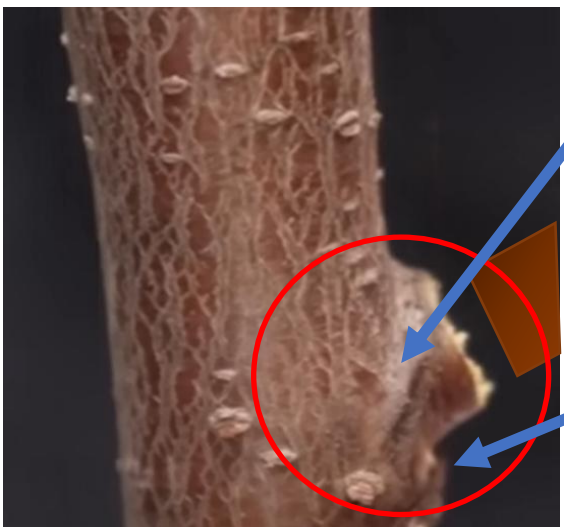
結実させながら  
木をコンパクトに  
できる

結実させられるが木  
をコンパクトに  
できない

結実しないが  
枝や葉を充実させら  
れる。翌年に結実する

# 1-5 正しい太い枝の切る位置：切口にかさぶた、カルスを作りやすくする

枝を剪定したあと、幹の内部に菌が侵入しないように断面にカルスを作り菌の侵入を防ぐ

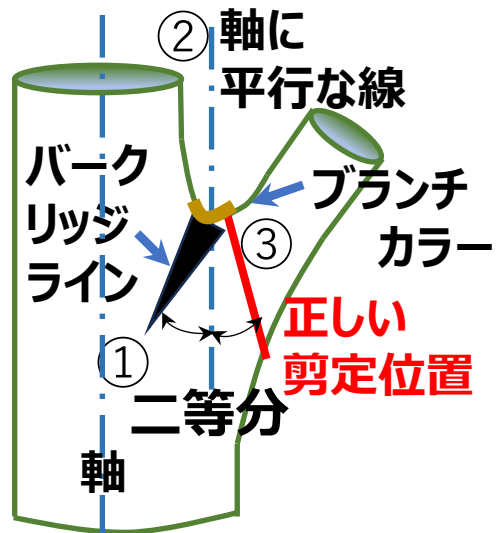


バーク  
リッジ  
ライン

ブランチ  
カラー

**枝の付け根には**  
 ・バークリッジ  
 ・ブランチカラー  
**と言う防御層が存在する**

**CODIT論**  
 (Compartmentalization of Decay In Trees)  
 樹木が傷口を自然に治す自己防衛能力  
 を最大限に活かす剪定方法  
 切り方が悪いとカルスを巻かない



二等分線の  
ところで切る

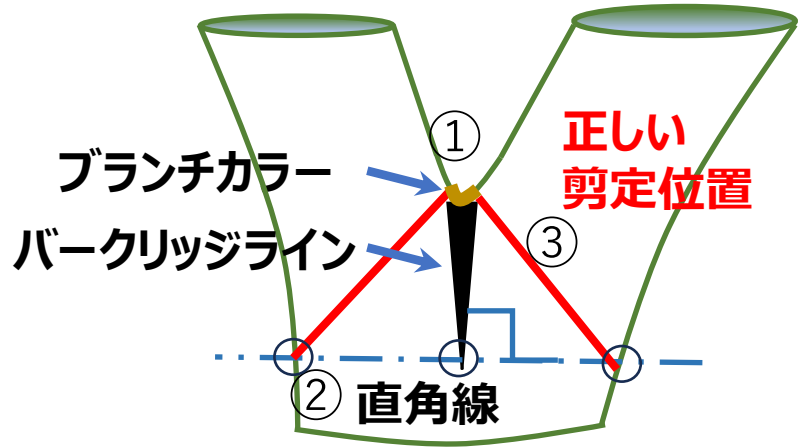
太い枝に  
癒合促進剤を塗る



切り  
残さない



ブランチカラーを  
残して切る



バークリッジラインの先端から  
軸に直角線との交点から切る